

IV 研修カリキュラム

以下の「ベーシックコース」を自らが確実に実践できることを基本とし、研修修了後に早期に習熟すべき「アドバンスドコース」を頻度高く臨床経験する。

1. ベーシックコース

【一般目標】

患者の立場を理解し、患者のニーズに配慮した歯科医療を個々の歯科医師が独立して実践するために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身に付ける。

(1) 医療面接

【一般目標】

患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① コミュニケーションスキルを実施する。
- ② 病歴（主訴、現病歴、既往歴および家族歴）聴取を的確に実施する。
- ③ 病歴を正確に記録する。
- ④ 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- ⑤ 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- ⑥ 患者の自己決定を尊重する。（インフォームドコンセントの構築）
- ⑦ 患者のプライバシーを守る。
- ⑧ 患者の QOL（Quality of Life）に配慮する。
- ⑨ 患者教育と治療への動機づけを行う。
- ⑩ 指導医へ正確な情報を伝達する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～⑩	ロールプレイ、グループ討議	セミナー室	指導医、研修医
2	①～⑩	臨床	診療室	指導医

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時期	方法
①～⑩	形成的	研修医	指導医、研修医	研修初期	観察記録、シミュレーションテスト
①～⑩	形成的	研修医	指導医、患者	研修中随時	観察記録

(2) 総合診療計画

【一般目標】

客観的な根拠に基づく効果的な歯科診療を行うために、基本的な各種検査手技と診断技術ならびに総合診療計画の立案に必要な知識、態度、技能を身につける。

【行動目標】

- ① 口腔顎顔面領域の基本的な診察・検査を実践する。
- ② エックス線検査の必要性和リスクを説明する。
- ③ 口内法およびパノラマエックス線検査を行う。
- ④ 得られた医療情報を基に診断する。
- ⑤ 適切と思われる治療法および選択肢を列挙する。
- ⑥ 診察・検査結果、治療法および予後をわかりやすく患者に説明する。
- ⑦ 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- ⑧ 他の医師・歯科医師や医療従事者との連携を考慮する。
- ⑨ EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた一口腔単位の総合診療計画を作成する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～③	講義, 相互実習	セミナー室, 診療室	指導医, 医療従事者
2	④	カンファレンス	セミナー室	指導医
3	④⑤⑨	ケースプレゼンテーション	セミナー室	指導医
4	①～⑧	臨床	診療室	指導医

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時期	方法
①～③	形成的	研修医	指導医, 医療従事者	研修開始前	シミュレーションテスト 観察記録
④	形成的	研修医	指導医	研修中随時	所見レポート, 観察記録
④⑤⑨	形成的	研修医	指導医	研修中随時	治療計画書, 観察記録
①～⑧	形成的	研修医	指導医	研修中随時	観察記録

(3) 歯科疾患の予防と管理

【一般目標】

口腔の健康を維持するために、齲蝕・歯周疾患の予防・管理に必要な臨床能力を身につける。

【行動目標】

- ① 齲蝕・歯周疾患予防のための口腔衛生指導を実践する。
- ② 齲蝕・歯周疾患予防のための生活指導を実践する。
- ③ 齲蝕・歯周疾患予防のための処置を行う。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②	カンファレンス，ロールプレイ	セミナー室	指導医，研修医
2	③	模型実習，相互実習	セミナー室	指導医
3	①～③	臨床	診療室	指導医

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時 期	方 法
①～③	形成的	研修医	指導医，研修医	研修初期	シミュレーションテスト 観察記録
①～③	形成的	研修医	指導医	研修中随時	観察記録

（４）応急処置

【一般目標】

患者の緊急な訴えに迅速に対処するため，応急処置に必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① 緊急性と重症度を判断して初期対応する。
- ② 急性症状に対する基本的な治療を実践する。
- ③ 歯の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- ④ 修復物，補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。
- ⑤ 必要に応じて他科への治療の依頼を行う。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～⑤	セミナー	セミナー室	指導医
2	①～⑤	臨床	診療室	指導医

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時 期	方 法
①～⑤	形成的	研修医	指導医	研修中随時	観察記録

(5) 高頻度治療

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例の治療に必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① 歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- ② 齲蝕の基本的な治療を実践する。
- ③ 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- ④ 抜歯術の基本的な手技を実践する。
- ⑤ 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①	示説、相互実習	診療室	指導医，研修医
2	②	セミナー，CS プログラム	臨床シミュレーション室	指導医
3	②③	シミュレーション	診療室 技工室，模型	指導医
4	①～⑤	臨床，カンファレンス	診療室	指導医

※CS（Clinical Skill）プログラムとは，歯科診療のスキル獲得のための実習プログラムをいう。

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時期	方法
①～⑤	形成的	研修医	指導医,研修医	研修中随時	観察記録

(6) 全身管理

【一般目標】

歯科診療を安全に行うために必要な全身管理に関する知識，技能，態度を身に付ける。

【行動目標】

- ① バイタルサインを測定し，評価する。
- ② 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- ③ 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- ④ 一次救命処置を模倣する。
- ⑤ 入院下での患者の治療・管理に参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②③	臨床	診療室	指導医
2	②③	セミナー，グループ討議，ケースプレゼンテーション	セミナー室 OHP	指導医
3	④	シミュレーション実習	セミナー室 CPR Simulator AED trainer	指導医
4	⑤	臨床	病棟、手術	指導医

※CPR Simulator とは，一次救命処置のトレーニング用特殊マネキンをいう。

※AED trainer とは，体外式半自動除細動器（AED）のトレーニングキットをいう。

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時期	方法
①～③⑤	形成的	研修医	指導医	研修中随時	観察記録
④	形成的	研修医	指導医	実習後	シミュレーションテスト

（７）医療管理・地域医療

【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たすために必要となる医療管理・チーム医療・地域医療に関する知識，態度，技能を身に付ける。

【行動目標】

- ① 保険診療を実践する。
- ② 電子媒体による保険診療内容の入力を行う。
- ③ 電子媒体による診療報酬を算定する。
- ④ 医療記録を作成・管理する。
- ⑤ 診療コストに配慮した治療を実践する。
- ⑥ チーム医療を実践する。
- ⑦ 地域医療を実践する。
- ⑧ 訪問歯科診療を実践する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～④	セミナー ^{*1}	講堂	外部講師
2	①～④	セミナー ^{*2 *3 *4}	セミナー室	医療管理委員，指導医
3	①～⑥	臨床	診療室	指導医，医療従事者
4	①～⑦	臨床	協力型施設	協力型施設指導医
5	⑧	臨床，往診先	往診車	指導医，歯科衛生士

*1 新規保険医登録講習会

*2 歯科保険点数の解釈についての講義

*3 オンラインによる診療報酬算定に関する講習会

*4 電子カルテに関する講習会

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時 期	方 法
①～④	形成的	研修医	指導医	研修初期	観察記録, 客観試験
①～⑥	形成的	研修医	指導医	研修中随時	観察記録
①～⑧	形成的	研修医	協力型施設, 指導医	研修中随時	観察記録

（８）医療安全・感染予防

【一般目標】

円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度、技能を身に付ける。

【行動目標】

- ① アクシデントおよびインシデントを説明する。
- ② 医療過誤を説明する。
- ③ 歯科診療時の偶発症への対処法を説明する。
- ④ 医療安全対策を実践する。
- ⑤ 基本的な院内感染防止対策を実践する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～③	セミナー ^{*1*2}	講堂	医療事故防止対策委員 院内感染防止対策委員
2	①～③	ワークショップ	セミナー室	指導医
3	④⑤	臨床	診療室	指導医

*1 医療事故防止対策委員会主催の研修会

*2 院内感染防止対策委員会主催の研修会

【評価方法】

行動目標	目的	対象	評価者	時 期	方 法
①～⑤	形成的	研修医	指導医	研修中随時	観察記録, レポート

2. アドバンスドコース

【一般目標】

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療についての知識、態度、技能を修得する姿勢を身に付ける。

(1) 救急処置

【一般目標】

歯科診療で起こりうる緊急事態に対応するために、必要な救急処置に関する知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① 重篤な偶発症の対処法を説明する。
- ② 二次救命処置を説明する。
- ③ 下顎挙上法による気道確保を実施する。
- ④ 麻酔器、マスクによる人工呼吸を実施する。
- ⑤ 末梢静脈路確保を実施する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②	グループ討議、ケーススタディ	セミナー室	指導医、研修医
2	③～⑤	シミュレーション実習、臨床	セミナー室、中央手術室	指導医

(2) 医療安全・感染予防

【一般目標】

円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度を修得する。

【行動目標】

- ① アクシデントおよびインシデントを分析する。
- ② アクシデントが生じたときの対応について説明する。
- ③ Standard Precautions について説明する。

※Standard Precautions（標準的予防策）とは、すべての患者に普遍的に適用され、その血液、体液、分泌物、排泄物や創傷、粘膜などに接触する際に行う感染予防対策をいう。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～③	セミナー ^{*1*2*3}	会議室，講堂	各委員

^{*1} 口腔外科インシデント委員会への参加

^{*2} 医療事故防止対策委員会主催の研修会

^{*3} 院内感染防止対策委員会主催の研修会

（３）経過評価管理

【一般目標】

自ら行った治療の経過を観察評価し，安定した予後を確立するために，診断および治療に対するフィードバックに必要な知識，態度を修得する。

【行動目標】

- ① リコールシステムの重要性を説明する。
- ② 治療の結果を評価する。
- ③ 治療の予後を推測する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～③	臨床	診療室	指導医
2	①～③	ケーススタディー	セミナー室	指導医，研修医

（４）専門的歯科医療

【一般目標】

生涯研修のために必要な専門的分野に関する知識，態度，技能を理解する。

【行動目標】

- ① 専門的な分野の情報を収集する。
- ② 専門性の高い治療に参画する。
- ③ 入院下での患者の治療・管理に参画する。
- ④ POS（Problem Oriented System）に基づいた医療を説明する。
- ⑤ EBM（Evidence Based Medicine）に基づいた医療を説明する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①	学会，セミナー	講堂，セミナー室	指導医，外部講師
2	①②	選択研修 ^{*1*2}	診療室	指導医
3	③	臨床	病棟，手術室	指導医
4	④⑤	セミナー，ケーススタディ	セミナー室	指導医

^{*1} 本院のセンター，特殊外来の中から興味のある分野を選択し，当該分野の研修を行う。

なお，センター，特殊外来は以下の通りである。

口腔インプラントセンター	睡眠歯科センター
障害児・者歯科センター	口腔ケア機能管理センター
白い歯外来	スポーツ歯科外来
いき息さわやか外来	あごの関節・歯ぎしり外来
特殊歯周病治療外来	口のかわき治療外来
歯科アレルギー治療外来	歯科鎮静リラックス外来
顎のかたち・咬み合わせ外来	

^{*2} 口腔外科，矯正歯科，小児歯科，放射線科，歯科麻酔・全身管理科についても選択制とし，希望があった場合には当該分野の研修を行う。

（５）医療管理

【一般目標】

適切な歯科診療を行うために，必要となる医療管理に関する知識，態度，技能を修得する。

【行動目標】

- ① 歯科医療機関の経営管理を説明する。
- ② 必要に応じた医療情報の収集を行う。
- ③ 適切な放射線管理を実践する。
- ④ 医療廃棄物を適切に処理する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②③	セミナー ^{*1*2*3}	講堂，ITセンター	指導医，外部講師
2	②	シミュレーション	ITセンター，診療室	指導医，外部講師
3	③④	臨床	診療室	指導医

^{*1} 歯科医療機関の経営管理に関する講習会

^{*2} IT委員会主催のオンラインによる文献検索講習会

^{*3} 放射線安全委員会主催の放射線管理講習会

（６）地域歯科医療

【一般目標】

地域保健の増進に寄与し、歯科医師の社会的役割を果たすために、必要な地域歯科医療についての知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① 地域歯科保健活動に参画する。
- ② 訪問歯科診療に参画する。
- ③ 医療連携を説明する。
- ④ 地域基幹病院歯科の役割を説明する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②④	フィールドワーク ^{*1*2*3*4*5}	学外施設	指導医、医療従事者
2	③	臨床 ^{*6}	診療室	指導医

*1 母子歯科保健活動に参画する。

*2 学校歯科保健活動に参画する。

*3 在宅歯科往診に参画する。

*4 地域基幹病院歯科口腔外科において一般病棟急性期患者の口腔ケア、歯科診療および手術に参加する。

*5 保健所研修に参加し、地域保健活動に参画する。

*6 紹介患者の診療に携わり、三次医療機関としての地域医療連携を行う。

3. 病棟研修

1. 約3週間21日間、口腔外科病棟において、入院下での患者の治療・管理に、担当医チームの一員として参画する。

この間は総合診療科での診療予約を一切入れてはならない。また、選択研修もこの期間は休止する。

研修期間中は、口腔外科担当指導歯科医師の指示で研修を行う。

研修の最終日には、担当した症例のPCプレゼンテーション(Power Point)を用いて行い、口腔外科医員とディスカッションを行う。

2. 入院患者の担当医となり指導医と共に、治療計画、患者説明、手術、周術期管理、退院指導を行う。
3. 静脈内鎮静法患者の麻酔・全身管理担当として、治療計画、患者説明、麻酔管理、周術期管理、退院指導を行う。
4. 周術期やがん患者の口腔管理、口腔ケアの重要性と歯科の役割を理解するために、研修期間中に口腔ケア機能管理センターにおいて研修を行う。
5. 電子カルテを使用した医療管理について、信楽園病院において研修を行う。
6. ポートフォリオ形式による研修とし、担当症例のレポートならびに研修期間中は日々の自己評価シートを記載提出し、指導医のフィードバックを受ける。

4. 歯科訪問診療研修

1. 4日間×2回、計8日間、訪問歯科口腔ケア科の一員として施設、在宅での患者の治療・管理に参画する。歯科訪問診療研修は初期研修後に開始する。
2. 歯科訪問診療は指導歯科医1名、歯科衛生士1名、研修歯科医1名および臨床実習生1名の計4名を1グループとし2グループを編成し、2～3台の往診車で行う。
3. 診療環境の関係で指導歯科医の診療補助が主となるが、研修歯科医は積極的に指導歯科医の指導下で治療を実施すること。
4. 歯科訪問診療研修の研修期間は事前に指定される。しかし、他の研修や診療の都合により調整が必要となる場合は、早めに指導歯科医に連絡し指示を受ける。
5. 訪問先の都合などにより、十分な症例を研修出来なかった場合は、指導歯科医に連絡し指示を受ける。
6. 研修歯科医は事前に各自患者のカルテに目を通し、必ず疾患の概要を把握した上で診療に参加する。
7. 歯科訪問診療では、家族の前で診療することが多いので、言動や服装などには十分注意をすること。
8. 歯科訪問診療の翌日までに、指導医からケースレポートの評価を受けること。
9. 歯科訪問診療研修終了時、ケースレポートを8枚揃えて提出すること。
(提出先は、訪問歯科口腔ケア科医局)

5. 地域保健医療研修

1. 新潟市保健所、新潟県保健所（新潟県地域振興局健康福祉部）、新潟臨港総合病院、新潟市信楽園病院等の協力施設において、地域歯科保健、公衆衛生、地域医療の研修を行う。
2. 単独型プログラムは必修とし、複合型短期プログラムは希望者による選択制とする。
3. 研修内容・研修期間は、施設により異なるので、事前説明の後に希望調査を行い決定する。

6. 障害児・者歯科センター

1. 指定された日に3回、障害児・者歯科センターの一員としてセンターでの患者治療に参画する。
2. 特殊な患者であるため指導歯科医の診療補助が主体となるが、定期検査や指導歯科医師の指導により治療可能な患者に関しては、実際に診療を行う。
3. 評価は3回の研修の都度、その日のチーフより受ける。
4. 評価は基本的な知識、態度について行うため、事前に障害者の特徴を把握し、診療に積極的に参画すること。

7. 睡眠歯科センター

- 1) 睡眠歯科センター外来で1週間の研修を受ける。
- 2) 研修内容
 - (1) 問診票の使用方法と判定方法
 - (2) 画像診断（セファログラム読影）
 - (3) 睡眠脳波検査（終夜睡眠ポリグラフ）の説明と指示書記載法
 - (4) 睡眠脳波検査の見学（希望者のみ、選択制研修医に同行する）
 - (5) 睡眠脳波解析の見学（希望者のみ、選択制研修医に同行する）
 - (6) 画像診断（機能撮影セファログラム読影）
 - (7) 外来診療補助
- 3) 1週間の研修後に所定の評価シートを用いてセンター長にレポートを提出する。

8. 選択制研修のカリキュラム

(1) 口腔外科

【一般目標】

小手術や全身麻酔手術を含めた周術期管理を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① 口腔外科的疾患の診査、診断、治療を説明する。
- ② 入院管理に必要な検査を説明する。
- ③ 周術期管理を説明する。
- ④ 簡単な埋伏歯抜歯、歯根端切除術、骨隆起除去術を実施する。
- ⑤ 採血を実施する。
- ⑥ 切開縫合を実施する。
- ⑦ 静脈確保を実施する。
- ⑧ 入院管理下における口腔外科的疾患の治療に参画する。
- ⑨ 入院患者の精神状態に配慮する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②③	セミナー	セミナー室	指導医
2	④～⑦	シミュレーション	セミナー室	指導医
3	⑤⑦	相互実習	診療室	指導医、研修医
4	①～⑨	臨床	診療室、病棟、手術室	指導医、看護師

(2) 歯科麻酔・全身管理科

【一般目標】

全身麻酔下での歯科診療を行うために必要な全身管理に関する知識，態度，技能を身につける。

【行動目標】

- ① 全身疾患を有する患者の歯科治療時の管理要点を説明する。
- ② 静脈確保を実施する。
- ③ 鎮静法の概要を説明する。
- ④ 吸入鎮静法を実施する。
- ⑤ 静脈内鎮静法を実施する。
- ⑥ 一次救命処置としての気道確保を実施する。
- ⑦ 二次救命処置を説明する。
- ⑧ 全身麻酔の概要を説明する。
- ⑨ 全身麻酔の介補をする。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①③⑦⑧	示説，グループ討議	セミナー室	指導医
2	②⑥	シミュレーション	セミナー室	指導医，研修医
3	①②④⑤ ⑨	臨床	診療室	指導医

(3) 小児歯科

【一般目標】

成長発達期にある小児の特異性を考慮し、健全な顎口腔形態機能を育成するために必要な知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① P T Tを考慮した信頼関係を確立する。
- ② 小児歯科に必要なコミュニケーション技法を実施する。
- ③ 小児の特異性を考慮した治療計画を立案する。
- ④ トレーニングを実施する。
- ⑤ 乳歯の歯冠修復を実施する。
- ⑥ 乳歯の歯内療法を実施する。
- ⑦ 小児の外科処置を実施する。
- ⑧ 小児と保護者に咬合誘導装置について説明する。
- ⑨ 定期診査を実施する。
- ⑩ 小児と保護者にブラッシング指導を実施する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～③	ケーススタディ	セミナー室	指導医
2	②⑤⑥⑩	実習	診療室	指導医
3	①～⑩	臨床	診療室	指導医
4	①～⑩	ケースプレゼンテーション	セミナー室	指導医，研修医

(4) 障害児・者歯科センター

【一般目標】

障害児・者の歯科医療を安全かつ的確に行うために必要な、障害児・者に関する知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① 障害児・者に必要なコミュニケーション技法を習得する。
- ② 障害児・者の身体的・心理的特徴を説明する。
- ③ 障害児・者の歯科診療時の問題点を説明する。
- ④ 障害児・者の歯科治療計画を立案する。
- ⑤ 障害児・者の抑制的治療の留意事項を列挙する。
- ⑥ 障害児・者の治療に参加する。
- ⑦ 障害児・者の全身管理下での歯科診療に参画する。
- ⑧ 摂食嚥下障害の診断に必要な技能を習得する。
- ⑨ 定期診査を実施する。
- ⑩ 障害児・者の歯科治療の最近のトピックスを自己学習し発表する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～④	講義	セミナー室	指導医
2	①④⑦	実習	診療室	指導医
3	⑤～⑧	臨床	診療室，外来手術室	指導医
4	⑨	プレゼンテーション	セミナー室	指導医

(5) 矯正歯科

【一般目標】

不正咬合を予防・抑制あるいは改善し、正常な顎顔面口腔の形態と機能を獲得するために必要な不正咬合の治療に関する知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① 不正咬合の診察、検査、診断をする。
- ② 治療計画を立案するのに必要な情報を収集する。
- ③ EBMに基づいた治療計画を立案する。
- ④ 治療計画に基づいた処置を行う。
- ⑤ 定期的に予後を観察する。
- ⑥ 自分の行った処置を評価する。
- ⑦ ケースプレゼンテーションをする。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～④	セミナー シミュレーション	小児歯科・矯正歯科 研修室	指導医
2	②	相互実習	診療室	指導医，研修医
3	①～⑤	臨床	診療室	指導医
4	⑥⑦	症例検討会	セミナー室	指導医，研修医

(6) 放射線科

【一般目標】

歯科疾患におけるより重篤な病態に対処するために必要な、頭頸部および全身に対する ME 機器を用いた画像検査および悪性腫瘍の放射線治療に関する基本的な知識、態度、技能を身に付ける。

【行動目標】

- ① 画像検査の必要性和リスクを説明する。
- ② デジタルエックス線撮影を行う。
- ③ CT 検査を行う。
- ④ MRI 検査を行う。
- ⑤ 核医学検査を行う。
- ⑥ 超音波検査を行う。
- ⑦ 各種画像処理を行う。
- ⑧ 画像診断を実践する。
- ⑨ 放射線治療に参画する。
- ⑩ ケースプレゼンテーションを行う。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～⑦	講義, 実習	セミナー室, 検査室 診療室	指導医, 医療従事者
2	⑧⑨	カンファレンス	セミナー室, 診療室	指導医
3	①～⑨	臨床	検査室, 診療室	指導医, 医療従事者
4	⑧⑩	プレゼンテーション	セミナー室	指導医

(7) 口腔インプラントセンター

【一般目標】

口腔機能と審美性改善のためインプラントを希望する患者に対し、的確かつ安全に治療を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① 欠損修復におけるインプラントの意義を説明する。
- ② 検査、診断を説明する。
- ③ 適応症、禁忌症を説明する。
- ④ 治療計画を立案する。
- ⑤ 基本的なインプラント埋入術式を模倣する。
- ⑥ 手術、治療に参画する。
- ⑦ メンテナンスに参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～④	セミナー，症例検討会	セミナー室	指導医
2	⑤	模型実習	実習室	指導医
3	⑥⑦	臨床	診療室	指導医

(8) 口腔ケア機能管理センター

【一般目標】

急性期患者の口腔ケア，口腔リハビリテーション，終末期・慢性期患者の口腔ケア，要介護者・障害者の訪問口腔ケアおよび介護保険制度における口腔機能維持管理を実施するために必要な知識，態度，技能を修得する。

【行動目標】

- ① 口腔ケアが必要な患者の全身状態を評価する。
- ② 口腔ケアが必要な患者の局所状態を評価する。
- ③ 口腔ケアが必要な患者の口腔ケアプランを立案する。
- ④ 他の医療施設等と連携して地域医療連携を実施する。
- ⑤ 多職種と連携・協働したチーム医療での口腔ケアを実施する。
- ⑥ 高齢者医療制度，介護保険制度を説明する。

【研修方法】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②③⑥	セミナー	セミナー室	指導医
2	①②③	グループ討議	セミナー室	研修医、指導医
3	①～⑥	臨床	診療室	指導医
		臨床	病棟	指導医
		フィールドワーク	訪問口腔ケア	指導医

(9) 白い歯外来

【一般目標】

歯の審美性の回復を求める患者の治療を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。

【行動目標】

- ① 変色歯の診査方法を説明する。
- ② 変色歯の原因を説明する。
- ③ 変色歯の治療方法を説明する。
- ④ 色差計で歯の測色を実施する。
- ⑤ 漂白の治療に参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～③	セミナー	セミナー室	指導医
2	④⑤	臨床	診療室	指導医

(10) 特殊歯周病治療外来

【一般目標】

歯および歯周組織の機能と審美性を改善するために、歯周組織再生療法および歯周形成外科手術に関する基本的知識、態度、技能を身につける。

【行動目標】

- ① 歯周組織再生療法の術式と適応症を説明する。
- ② 歯周形成外科手術の術式と適応症を説明する。
- ③ 歯周外科手術に参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②	セミナー*	セミナー室	指導医 外部講師
2	③	シミュレーション実習	診療室、模型 ファントム	指導医
3	③	臨床	診療室	指導医
4	③	症例検討会	セミナー室	指導医、研修医
5	③	ケースプレゼンテーション	セミナー室 パソコン	指導医、研修医

*歯周病学会認定専門医によるケースプレゼンテーションやセミナー

(11) スポーツ歯科外来

【一般目標】

口腔顎顔面領域のスポーツ外傷の予防および治療を行うために必要な知識，態度，技能を修得する。

【行動目標】

- ① スポーツ歯科に関する情報を収集する。
- ② 口腔顎顔面領域のスポーツ外傷の予防について説明する。
- ③ 口腔顎顔面領域のスポーツ外傷の治療について説明する。
- ④ マウスガードの製作・装着に参画する。
- ⑤ マウスガードのメンテナンスに参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～③	セミナー	セミナー室	指導医
2	④⑤	臨床	技工室，診療室	指導医

(12) いき息さわやか外来

【一般目標】

口臭を訴える患者に適切に対応するために必要な知識，態度，技能を修得する。

【行動目標】

- ① 患者の心理的特徴を説明する。
- ② 心理・社会的背景に配慮してコミュニケーションする。
- ③ 口臭の原因や治療方法と予防方法について説明する。
- ④ 口臭に関連した検査を実施する。
- ⑤ 治療計画を立案する。
- ⑥ 口腔衛生指導を実施する。
- ⑦ PMTC を実施する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～⑤	グループ討議，ケーススタディ	セミナー室	指導医
2	①～⑦	相互実習，臨床	セミナー室，診療室	指導医，研修医

(13) あごの関節・歯ぎしり外来

【一般目標】

顎関節症あるいはブラキシズムをもつ患者の治療に必要な知識, 態度, 技能を修得する。

【行動目標】

- ① 顎関節症ならびにブラキシズムの種類, 特徴を説明する。
- ② 顎関節症ならびにブラキシズムを診察する。
- ③ 顎関節症ならびにブラキシズムの治療計画を立案する。
- ④ 顎関節症ならびにブラキシズムの治療に参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①	セミナー, スモールグループ討議	セミナー室	指導医
2	①②④	相互実習, 臨床	診療室	指導医, 研修医
3	③	ケーススタディ, 症例検討会	セミナー室	指導医

(14) 口のかわき治療外来

【一般目標】

口腔乾燥症（ドライマウス）患者の診療を行うために必要な基本的診査と各種検査手技ならびに治療方法を身に付ける。

【行動目標】

- ① 口腔乾燥症患者に対して基本的な診察を実施する。
- ② 口腔乾燥症患者に対して基本的な検査を実施する。
- ③ 検査結果から口腔乾燥症の原因を患者に説明する。
- ④ 口腔乾燥症の適切な治療法を選択する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②	セミナー	セミナー室	指導医
2	①②	相互実習	診療室	指導医, 研修医
3	①～④	臨床	診療室	指導医

(15) 歯科アレルギー治療外来

【一般目標】

歯科に関連するアレルギー疾患を有する患者の治療を行うために必要な知識，態度，技能を修得する。

【行動目標】

- ① 歯科関連のアレルギー疾患に関する病態を説明する。
- ② 歯科関連のアレルギー疾患に関する症状や治療法を説明する。
- ③ アレルギー疾患を有する患者の診査・検査を実施する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②	セミナー，ケーススタディ	セミナー室	指導医
2	②③	臨床	診療室	指導医

(16) 歯科鎮静リラックス外来

【一般目標】

不安感の強い患者に対して適切に歯科診療を行うために必要な精神鎮静法に関する知識，態度，技能を身に付ける。

【行動目標】

- ① 精神鎮静法について説明する。
- ② 精神鎮静法の合併症について説明する。
- ③ 精神鎮静法による治療計画を立案する。
- ④ 帰宅判定基準を説明する。
- ⑤ 吸入鎮静法を実施する。
- ⑥ 静脈内鎮静法に参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①～④	グループ討議	セミナー室	指導医
2	⑤	相互実習	診療室	指導医
3	③～⑥	臨床	診療室	指導医

(17) 顎のかたち・咬み合わせ外来

【一般目標】

外科的矯正の適応患者に対して、機能および審美性を改善するために必要な顎変形症に関する知識、態度、技能を身に付ける。

【行動目標】

- ① 顎変形症について説明する。
- ② 患者の病悩に配慮し、コミュニケーションする。
- ③ 顎変形症の診察を実践する。
- ④ 顎変形症の診断に必要な検査を説明する。
- ⑤ 頭部エックス線規格写真および診断用模型の分析を行う。
- ⑥ 顎変形症の治療計画を立案する。
- ⑦ 術前矯正および術後矯正の流れを説明する。
- ⑧ 顎変形症の手術に参画する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①⑤⑥	症例検討会	セミナー室	指導医
2	⑤	実習	セミナー室	指導医
3	②～⑧	臨床	診療室, 手術室, 病棟	指導医

(18) 睡眠歯科センター

【一般目標】

歯科医師として、睡眠呼吸障害（いびき症、上気道抵抗症候群、睡眠時無呼吸症候群）や睡眠関連ブラキシズムなど睡眠関連歯科疾患に適切に対応するために必要な睡眠医学ならびに睡眠歯学に関する知識、態度、技能を身につける。

【行動目標】

- ① 睡眠呼吸障害や睡眠関連ブラキシズムなど睡眠関連歯科疾患の病態を説明する。
- ② 睡眠関連歯科疾患の病態診断法（主に終夜睡眠ポリグラフ）を説明する。
- ③ 睡眠関連歯科疾患の病因診断法（主にセファログラムの機能撮影）を説明する。
- ④ 終夜睡眠ポリグラフ検査を見学し、合併する他の睡眠障害との鑑別診断を行う。
- ⑤ 経鼻式持続陽圧呼吸治療や口腔装置による睡眠呼吸障害の治療を見学する。
- ⑥ 病態診断や病因診断の結果から適切な治療法を立案する。
- ⑦ 手術治療を選択した場合は気道確保の困難性や周術期管理の難易度を検討する。
- ⑧ 問診表による診察、希望者は簡易睡眠検査を経験する。

【研修方略】

方略	行動目標	研修方法	物的資源	人的資源
1	①②③⑥⑦	セミナー	セミナー室	指導医
2	④	臨床	病棟（睡眠脳波室）	指導医
3	⑤⑧	臨床	外来（睡眠歯科センター）	指導医